

One Day Touring by UEMATSU



出発前にウエマツの営業部長・峯尾氏より安全運転のマナー遵守とコース、トラブル時の対応等の説明があった。

ーリング日和、午前9時には続々とウエマツの店舗前に集まる絶版車の数々が店舗前を通り過ぎる車の目を引いていた。

出発時間の9時前には参加者が集り、植松社長の挨拶と営業部長の峯尾氏から、目的地までのコース説明、緊急時の対応や走行中の諸注意があり、全員が予定通りに店舗前をスタート。

ルートは八王子から中央高速に乗り、談合坂サービスエリアで休憩をとり、富士河口湖インターから国道139号線を本栖湖方面に向かい朝霧高原のドライブイン「もちや」までのちょうど100kmだ。

今回のZUOCツーリングはウエマツ二十余年の歴史の中で初めてのツーリングだそうで、ウエマツ



店の前には参加者のマシンが、これからの走り待ちを待たせられるように停められて、通り過ぎる人達の目を引いていた。



談合坂サービスエリアでは、普段聞けない情報やプライベートなどをウエマツのスタッフやオーナー同士で交換し合っていた。

快晴のフリーウェイに響く 絶版車の咆哮

ツの若いスタッフは皆一様に緊張気味のような顔だった。それも一旦走り出せば皆笑顔に変わり、お客さんと隊列を作り、目的地にむけて整然と走りを楽しんでいた。

中央高速を整然と隊列を成して走るマシンはカッコイイの一言。談合坂のサービスエリアに入って行くとその隊列はサービスエリアの人々の注目の的だった。

休憩中は皆ひとしきり他のバイクに見入っては、各車両のオーナーと情報交換をする光景があちこちにあり、新たな情報に目を丸くする人や、絶版車という同じ価値を共有し至福の一時を過ごすオーナーがバイクを取り囲んでいた。



八王子のウエマツに集まった絶版車のオーナーの皆さん。出発前に記念写真を撮影してツーリングの成功を誓った。

ZUOC = ZEPPAN UEMATSU OWNERS CLUB、お馴染み絶版車販売の老舗・ウエマツで車両を購入したユーザーによるオーナーズクラブがZUOC。五月晴れの下、ZUOCのメンバーと植松社長を始めとするスタッフたちによる日帰りツーリングが開催された。

レポート ● 泉田陸男

ウエマツで繋がる ライダーの輪

5月の中旬、絵に描いた様な五月晴れの空に4スト2気筒、4気筒、2スト3気筒等々のエキゾーストノートが八王子の空にこだました。ウエマツに集う絶版バイクフリークによるワンデイツーリングが企画され、集まったマシンたちが氣勢を上げたのだ。

植松社長が発信しスタッフの皆が計画を作り上げ4月に予定されたツーリングだったが、天候不順で延期になり待ちに待った5月に実行されたのだ。当日は絶好のツ